

国語科学習指導案

指導者 下斗米 直子

- 1 日時 平成 18 年 7 月 7 日 (金) 2校時
- 2 学級 1年1組 男子20名 女子16名 計36名 南校舎4階
- 3 主題 わかりやすく説明しよう 情報を選ぶ (光村図書「国語1」)
- 4 主題について

『この「国語1」の「わかりやすく説明しよう」の単元では、読者の立場から、必要な情報を積極的に選んで、わかりやすく説明できるように、自分の考えを整理して書くことを目指している。』

この単元では、読者の立場から、必要な情報を積極的に選んで、わかりやすく説明できるように、自分の考えを整理して書くことを目指している。

- 5 指導と評価の計画 (別紙)
- 6 本時の達成目標

国語への関心・意欲・態度	わかりやすく説明するために、必要な情報を目的に応じて選ぶ際のポイントを積極的に見つけ発表しようとしている。
書くことのできる能力	わかりやすく説明するために、観点別に整理した中から目的に応じて必要な情報を選び、構成メモを書いている。
言語についての知識・理解・技能	「相手」「目的」「順序」「いつ・どこで・だれが・何を・なぜ・どのように・どうした」「比較」「感想」等の情報収集や文章構成のポイントとなる言葉を適切に使っている。

- 7 本時の指導の振り返り (1) 本時の指導の振り返り (2) 本時の指導の振り返り
- (1) 本時の指導の振り返り (2) 本時の指導の振り返り

8 本時の展開

A 達成度 B 学習速度 C 取り組み方法(学習の仕方)
D 見方・考え方 E 興味・関心 F 生活経験

段階	過程	時間	学習活動	評価の視点・方法	指導上の留意点	学習形態・教材・教具等
導入	出会う	15分	1 前時の学習を想起し、自分の選んだ題材について集めた情報をどのような観点で整理したかを確認する。		1 個人ごとに題材に対して収集した情報をどのような観点で整理したかを発表させ想起させる。	一斉
			2 学習課題を把握する。		2 自分達が決めた題材について収集した多くの情報の中から、目的に応じて情報を選ぶことの必要性を感じさせる流れの中で、学習課題を設定する。	一斉 学習シート
展開	見通す	30分	3 目的に応じて、どのようなポイントに気をつけて情報を選んだらよいかをつかむ。	3 [書く能力] 目的に応じて必要な情報を選ぶときに考えるべきポイントをとらえられたか。 <発表内容> A: 対比の効果 5W1Hの指摘 特徴の意味 感想の性格 C: 4つの文章の内容や書き方の特徴に着目させて、そこから考えさせるようにする。	3 <D> 4 パターンの文章例を示し、まずは何を目的に書かれたかを考えさせる。その次に、その目的に応じて文章を書く際、必要な情報を何に留意して収集すべきかを見つけさせる。4つの文章を比較させ、それぞれの特徴に気づかせたい。 ~~~~~ 目的別4つの文章例 ~~~~~ 比較して伝える。 経過を伝える。 概要を伝える。 感想を伝える。 ~~~~~	一斉 資料
			4 個人で目的を決め、観点別にまとめた情報から、必要なものを選び構成メモを作成する。	4、5 [書く能力] <記述内容・発表内容> 目的に応じて必要な情報を選び、構成メモを作れたか。 A: 構成意識 語句の選択 表現の工夫 C: 補助資料を参考にさせて、構成メモを作らせる。	4 <B・C> 目的別に情報を選ぶことをさせるために4つの中から1つを選んで書かせることにする。前時に観点別に整理していた表から、目的に応じて情報を選ばせ構成メモを作らせる。個人差の出るところなので、早い生徒には2つ作らせるように指示する。構成メモについては、項目を順番に箇条書き程度で書かせたい。	個 学習シート
まとめ	整理する	30分	5 構成メモを発表する。		5 どのような目的で、どんな情報を選び、どういう構成にしようと考えているかを発表させる。他の生徒の参考になるような、ねらいにそったものを出させたい。できれば多様な目的別の例を発表させたい。	一斉
			6 わかりやすく説明するための情報の選択の仕方についてまとめを持つ。		6 相手と目的に応じて、必要な情報を吟味して選ぶこと、そしてその際に様々なポイントを考慮することをまとめさせる。	個 道しるべ
終末	振り返る・確かめる	5分	7 次時の予告をする		7 次時には、構成メモをもとに、書く活動に入ることを予告する。	

1 年 国 語		単元(題材)名 わかりやすく説明しよう 情報を選ぶ			総時間 6 時間扱い	
学習指導要領の指導事項 B(書くこと) ア 身近な生活や学習の中から課題を見付け、材料を集め、自分の考えをまとめること。 [言語事項] (1)エ 話や文章の中の段落の役割や文と文との接続関係などを考えること。						
単元の目標		主な学習活動	評価規準	国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
伝える目的や相手を明確にして情報を収集し、その中から必要な情報を選び、わかりやすく伝えるための工夫をすることができる。		身近な生活の中から、伝えたい題材を選び、書くために必要な情報を集め整理する。 伝える目的や相手に応じて、必要な情報を適切に選択し絞り込む。 わかりやすく伝えるための工夫をして文章を書き、読み合うことで情報の選び方や考え方について考える。	B = 「おおむね満足できると判断される状況」	身近な生活の中から伝えたい題材を選び、書くために必要な情報を進んで見つけようとしている。	伝える目的や相手に応じて情報を選び、わかりやすく伝えるために構成を工夫して文章を書くことができる。	読み手の立場を考え、わかりやすい文章になるように表現を工夫してまとめることができる。
			A = 「十分満足できると判断できる状況」の例	身近な生活の中から伝えたい題材を選び、それに関しての情報を、幅広く様々な視点から進んで見つけようとしている。	「目的意識」「相手意識」をしっかり持ち、情報を観点別に整理し、その中から必要な情報を選び、「導入・本文・まとめ」や「起承転結」を意識して構成を考えて書くことができる。	読み手の立場を考え、言葉遣いや語句の選び方、表現方法などを吟味し、わかりやすい文章になるように組み立てを工夫しながらまとめることができる。
			C = 「努力を要すると判断される状況」の生徒への指導の手だての例	別な題材についての情報の例を示し、こういったものを集めたらいいのかわからせたり、友人の考えを参考にさせたりしながら取り組ませる。	わかりやすい構成メモのモデルを例として示し、目的と相手に応じて選んだ情報の具体的な組み立てをより詳しく考えさせてから書かせるようにする。	書いた文章の中の語句が、構成や相手を考慮したときにふさわしいものかどうかを見直させ、より適切な表現になるようにさせる。
次	時	主な達成目標	主な学習活動	国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
1	3	身近な生活の中から、伝えたい題材について考え、書くために必要な情報を見つけて整理することができる。	身近な生活の中から、伝えたい題材を選び、書くために必要な情報を集め整理する。	身近な生活の中から伝えたい題材を選び、書くために必要な情報を進んで見つけ整理しようとしている。	身近な生活の中から選んだ題材についての様々な情報を集めることができる。	
2	1 (本時)	観点を決めて整理した情報から、伝える目的や相手に応じた必要な情報の絞り込み方を学び、構成メモを作ることができる。	伝える目的や相手に応じた必要な情報の選び方を知り、自分の選んだ題材についてわかりやすく伝えるための構成を考える。	伝える目的や相手に応じた必要な情報の絞り込み方に則り、積極的に自分で必要な情報を選択しようとしている。	伝える相手や目的に応じた必要な情報の選び方を学び、自分の題材に対して目的に応じた必要な情報を選び、わかりやすく伝える順序を考えて構成メモを書くことができる。	「相手」「目的」「時間」「いつ・どこで・だれが・何を・どのように・どうする」「比較」「感想」等の言葉を適切に使うことができる。
3	2	わかりやすく伝えるための工夫をして文章を書き、読み合うことで情報の選び方や考え方について考えることができる。	わかりやすく伝えるための工夫をして文章を書き、読み合う。	読み手を意識してわかりやすく伝える工夫をしながら文章を書こうとしている。	読み手の立場を考え、わかりやすい文章になるように工夫しながら、伝えたい内容をまとめることができる。	読み手にわかりやすい文章になるように、段落の役割や文と文との接続関係を工夫することができる。